

# 絆

## 清水はやと ニュースレター KI-ZU-NA

さいたま市長  
**清水はやと**  
2015(平成27)年5月号

### 東日本の中枢都市・減災都市へ 持続可能なまちづくりを推進します

#### 北陸新幹線 上野東京ライン開業!

3月14日に北陸新幹線が開業し、大宮駅から金沢駅まで2時間4分、富山駅までは1時間44分とぐっと近くなりました。また、上野東京ラインの開業で、浦和駅・大宮駅から乗り換えなしで東京駅や品川駅、神奈川方面と結ばれ、さいたま市はますます交通の利便性の高い都市になりました。加えて、来年には北海道新幹線の開業が予定されています。

#### 都市機能の拡充

平成27年4月1日現在のさいたま市の人口は、126万3455人で、国の推計値を大幅に上回り、人口が増えています。しかし、平成37年には、さいたま市も人口減少に入ると推計されています。また、

急激なスピードで高齢化が進みます。

こうしたことから、これから先の5年から10年の間が、さいたま市の未来にとってとても重要です。持続可能な成長をしていける都市を目指した準備をしっかりと進めていかなければなりません。

さいたま市は、鉄道や高速道路網などの交通の要衝としての役割を高め、「東日本の中枢都市」として東北・上越・信越・北陸地方などの各地域と連携、協力関係を充実していきます。これまで遅れていた大宮駅周辺をはじめ、「2都心4副都心」のまちづくりを強化していきます。

平成27年度は、大宮区役所の移転・建て替えの整備に向けた事業が進み、「大宮駅東口大門町2丁目中地区再開発

事業組合」が設立されるなど本格的なスタートを切ります。

また、副都心である浦和美園の総合特区(次世代自動車スマートエネルギー特区)にはアーバンデザインセンターみその(仮称)を設置するほか、さいたま新都心では長距離バスターミナルの整備に向けた検討が始まるなど、「東日本の中枢都市」機能の拡充に向けて着々と事業を進めていきます。

#### 広域交通網の充実

さらに、広域高速道路網の整備、鉄道や長距離バスターミナルの設置など東日本各地とのソフト・ハード両面からのつながりを充実させ、防災面の強化と持続可能な成長をしていける都市づくりに取り組んでまいります。



#### プロフィール

昭和37年3月生まれ。日本大学法学部卒業後、(財)松下政経塾入塾(第7期生)。埼玉県議員(南6区)2期を経て、平成21年5月さいたま市長に当選。平成25年5月に得票数、得票率ともに大きく伸ばして再選。現在2期目。著書は、「2010年霞ヶ関物語」(共著/二期出版)「繁栄の法則」(共著/TBSブリタニカ)「犯罪のない安全なまちをつくらう」(共著/埼玉新聞社)「さいたま市未来創造図」(埼玉新聞社)。好きな言葉は「素志貫徹」(成功の要諦は、成功するまで続けるところにある)。日本サッカーを応援する自治体連盟会長。2013マニフェスト大賞首長グランプリ受賞、共栄大学客員教授他。



北陸新幹線で金沢へ。同市の山野之義市長と会談しました



大門町2丁目中地区=事業認可前の外観イメージ図(出典:さいたま市)



浦和美園の地域成長発展事業=美園複合公共施設のイメージ図(出典:さいたま市)



岩槻駅の改築。北口の開設とバリアフリー工事に着手(出典:さいたま市)



さいたま新都心の長距離バスターミナル整備検討調査(写真はイメージ)

#### 東日本の各地域がぐっと近くに 大宮駅から

- 都心へ ⇒ 乗り換えなしで東京(36分)、品川(46分)
- 信越・北陸へ ⇒ 長野(59分)、富山(104分)、金沢(124分)
- 上越へ ⇒ 長岡(60分)、新潟(74分)
- 東北へ ⇒ 福島(58分)、山形(122分)、仙台(66分)、新青森(163分)、秋田(193分)

#### まちづくり関連の事業を進めています

- ・大宮区役所新庁舎整備事業
- ・大宮駅東口大門町2丁目中地区市街地再開発事業
- ・大宮駅西口第4土地区画整理事業
- ・与野本町駅周辺地区まちづくり事業
- ・浦和駅西口南高砂地区市街地再開発事業
- ・浦和美園・岩槻地域成長発展事業
- ・岩槻駅周辺地区まちづくり事業
- ・長距離バスターミナル整備検討調査
- ・スマートエネルギー特区推進事業など

日本一地域の絆で結ばれたまち

地域経済の活性化はもとより、子育て応援の観点を盛り込む方針で、18歳以下の子どもが3人以上いる「多子世帯」が優先購入(36万冊のうち3万冊)ができるよう検討されています。詳細は、事業主体のさいたま商工会議所が決定します。制度の骨格は以下ようになります。

- 割増率 30% (1万円で1万3千円分が購入できる商品券)
- 発行規模 46億8千万円(36万冊発行)
- 発行時期 夏頃に告知、秋頃に販売予定
- 使用期限 年末まで
- 購入方法 検討中

割増率 30%  
プレミアム付き  
商品券発行へ



#### 平成27年度 さいたま市当初予算

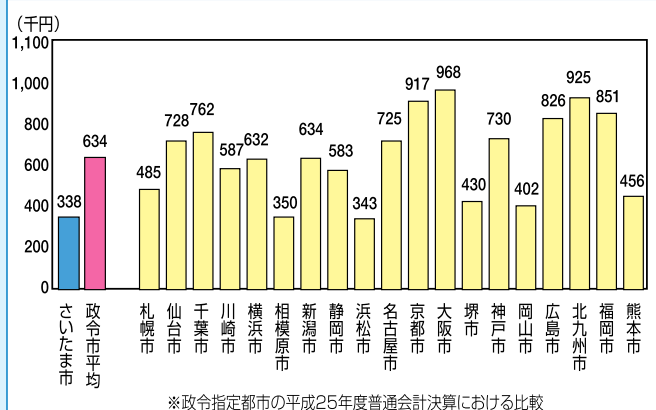
さいたま市は行財政改革を進めながら、「しあわせ実感都市」を目指して、より効果的で、効率的な行政サービスを推進しています。全国20の政令指定都市の中で、さいたま市は平成25年度の決算ベースにおいて、市民一人当たりの市債残高は1位(最小)です。将来負担比率2位、財政力指数は3位と総合的にトップクラスです。また、公共施設マネジメントでは全国のモデルにもなっています。

予算の内訳 ( )内は前年度比	
一般会計	4,560億円 (-1.9%)
特別会計	3,232億7300万円 (+2.5%)
水道事業会計	463億3,782万円 (-1.3%)
病院事業会計	189億9,983万円 (-5.8%)
下水道事業会計	561億6,404万円 (+9.5%)

#### 財政健全性 No.1

政令指定都市

<市民一人当たり市債残高比較>



# Close-up 1 高齡化へ向けて、健康で元気に暮らそう スマートウエルネスさいたま

## 「健康寿命」 政令指定都市1位を目指して

- ・ 健幸サポート事業
- ・ 健幸マイレージ事業
- ・ 2015ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム等自転車のまちづくり事業
- ・ さいたま国際マラソンの初開催
- ・ さいたま見沼ソーデーウォークの開催
- ・ 各区のウォーキングコースの設置
- ・ シルバーポイント制度
- ・ アクティブチケット交付事業
- ・ 特定健診、特定保健指導早期受診キャンペーンなど



さいたまーチ見沼ソーデーウォーク

## 医療・福祉の充実 安全・安心なさいたま

- ・ 市立病院施設整備事業
- ・ JCHOさいたま北部医療センター（旧社会保険大宮病院）整備事業\*
- ・ さいたま赤十字病院整備事業\*
- ・ 地域包括ケアシステムの構築
- ・ 生活困窮者自立支援事業
- ・ 新興・再興感染症対策事業など

\*一部を市で予算化



救急救命センターの設置等、安心・安全な医療を提供するため市立病院の建て替え案を策定（出典：さいたま市）

### 変わらぬ「現場主義」 2期目も徹底実行



市民の声を傾ける



女子プロ野球の始球式に臨む



神戸ビエンナーレ視察



学校訪問で児童に挨拶



「チャレンジスクール」を視察



高齢者支援にも力を入れる



いつも市民に寄り添って



地域のお祭りにも積極的に参加



収穫作業に汗を流す

## ここから、世界へ。 さいたま国際マラソン開催!

さいたま新都心の「さいたまスーパーアリーナ」をスタート・ゴールとして、埼玉スタジアム2002や旧中山道などを通り、折り返し地点が3カ所あるのが特徴です。  
昨年で終了した「横浜国際女子マラソン」を引き継ぐ大会で、「リオデジャネイロ・オリンピック」の代表選考レース。県内では初めての国際マラソンです。



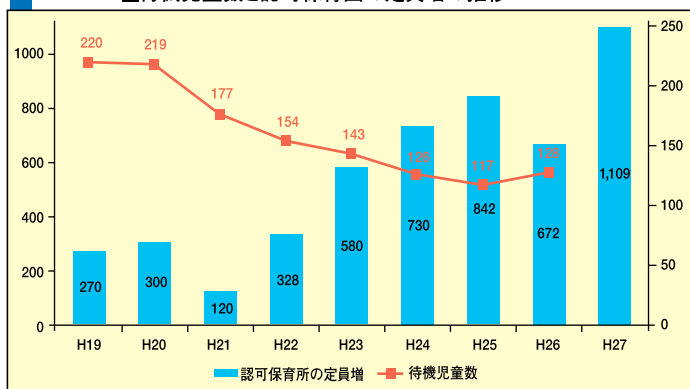
# Close-up 2 「子育てするなら」から 「子育て楽しい」さいたま市へ

待機児童ゼロへ  
保育所、児童クラブ定員増

子育て関連予算  
約17億円増  
(H26・27当初予算比較)

- ・ 幼児未来部、のびのび安心子育て課の設置
- ・ 保育所等の整備1,109人 定員増（前年比437人増）
- ・ 放課後児童クラブ11カ所350人定員増
- ・ 子育て支援センターを市内10カ所で開所
- ・ パパサンデーの実施
- ・ (仮称)こども総合センター整備など

待機児童数と認可保育所の定員増の推移



日本一こどもたちが  
夢を持っている都市へ

教育予算  
約59億円増  
(H26・27当初予算比較)

- ・ 全国に先駆けて、小1から英語教育を導入（モデル校実施）
- ・ 特色を生かした魅力あふれる市立高校改革
- ・ いじめ対策で、心のサポート事業を強化
- ・ 2校に給食室完成、全校で自校式給食を実施  
安全であたたかく、美味しい給食と食育
- ・ 全小中学校で、チャレンジスクール実施中
- ・ スクールアシスタントの配置拡充
- ・ 図書館整備など

